



理念「総志一貫」

- 本社所在地：群馬県藤岡市
- 事業概要：精密プレス加工業
- 常時使用する従業員：125名
（2026年8月時点）
- 現在の売上高：23.4億円
（2025年8月期）
- 法人番号：4070001012728
- Web：https://toyodagiken.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
豊田 信幸

プレス技術を進化させ次世代市場の課題に応える

当社は深絞り加工を中心に、熱対策部品や軽量化部品、高精度加工、ASSY品までを一貫生産し、自動車ランプ領域をはじめ多様な分野へ製品を供給してきました。めっき・プレス・組立の一貫体制を基盤に、品質・納期・コストに応じてきました。自動車産業ではEV化や自動安全運転が進み、熱対策や軽量化、高精度化、ADAS・車載カメラ・Lidar向け部品の要求が高まっています。今後は、Heat Sinkの展開や環境機器で好調なベトナム工場の活用、アジア市場とりわけインドへの供給体制強化を進めています。当社は深絞り技術の継承と若手登用を進め、技術革新を図っています。持続的成長を実現するため、2036年に売上高100億円を達成することを宣言します。今後も深絞り技術を核とした高付加価値メーカーとして発展を続けます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- 2036年の売上高100億円達成を実現する事業基盤の確立
- ・深絞り技術の高度化と次世代領域への展開
 - ・Heat Sinkなど放熱構造部品の事業化
 - ・ADAS・車載カメラ・Lidar向け部品の拡大
 - ・ASSY化による高付加価値生産への進化
 - ・非自動車分野（建機・医療・環境機器）の開拓
 - ・日本・ベトナムの一貫生産体制の強化

課題

- ・深絞り技術の継承と若手登用を進め次世代展開力を強化する
- ・Heat Sinkの設計要求を踏まえ熱対策と軽量化の提案力を高める
- ・ADAS・車載カメラ・Lidar向け部品の高度化要求に対応する
- ・ASSY化に向け一貫生産体制を整備し機能部品製造力を強化する
- ・非自動車分野への営業提案力を高め新たな需要を掘り起こす
- ・ベトナムとの連携を強化しインド等への供給体制強化を図る

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・深絞り技術を深化させ次世代領域への展開力を高める
- ・Heat Sinkの量産化を進め放熱構造の提案力を強化する
- ・ADAS・車載カメラ・Lidar向け部品の高精度化要求に対応する
- ・ASSY化を推進し機能部品から光学系部品まで対応範囲を広げる
- ・非自動車分野（建機・医療・環境機器）の需要を獲得する
- ・ベトナムの連携を強化し東南・南アジア市場への供給体制を確立する

実施体制

- ・深絞り技術の継承と若手登用を進め技術開発体制を強化する
- ・Heat Sinkの要求を踏まえ熱対策と軽量化の設計最適化を進める
- ・ADAS・車載カメラ・Lidar向け部品の加工精度向上を徹底する
- ・ASSY化を見据え工程連携を強化し高付加価値生産を進める
- ・非自動車分野の営業活動を強化し用途拡大を図る
- ・ベトナムの役割分担を明確化しインド等をターゲットとした量産体制を最適化する